

群馬県 宮 赤城 西麓 敷島1-2土地改良事業計画書

(農業用排水・区画整理)

群馬県

目 次

第1章	目 的	1
第2章	地域及び地積	1
第1節	地 域	1
第2節	地 積	1
第3章	現 況	2
第1節	気 象	2
1.	一般気象	2
2.	特殊気象	3
第2節	土地状況	4
1.	地形、土壌及び侵食の程度	4
2.	土地分類	5
3.	土地利用の状況	5
4.	土地所有の状況	6
第3節	水利状況	6
1.	用水状況	6
2.	排水状況	7
3.	河川状況	8
第4節	道路現況	9
1.	道路概況	9
2.	主要道路一覧表	9
第5節	地域農業の概況	11
1.	産業別就業人口	11
2.	経営農地広狭別農家数及び農地の分散状況 並びに専兼業別農家数	12
3.	動力農機具及び主要家畜頭数	13
4.	主要作物作付状況	14
5.	農業の動向	15
第6節	地域環境の概況	16

第2節	営農計画及び土地利用計画	18
1.	営農計画の概要	18
2.	土地利用区分	18
3.	作付方式	19
4.	生産計画	20
5.	労働改善計画	21
6.	級地別土地利用区分	21
7.	土地配分計画	21
第3節	用水計画	22
1.	計画基準年	22
2.	計画かんがい方式	22
3.	計画用水系統	22
4.	計画用水量	22
5.	水源計画	24
第4節	排水計画	26
1.	計画基準雨量	26
2.	計画排水方式	26
3.	計画排水系統	26
4.	計画排水量	28
5.	排水対策	28
6.	たん水検討	28
第5節	道路計画	29
1.	道路及び索道	29
2.	路線配置図	30
第6節	農用地造成計画	31
第7節	洪水調節計画	31
第8節	干拓計画	31
第9節	農用地整備計画	31

第4章	一般計画	17
第1節	事業計画の要旨	17
1.	要旨	17
2.	事業別面積	17
第5章	主要工事計画	34
第1節	用水施設	34
1.	貯水池	34
2.	頭首工	34
3.	揚水機	34
4.	用水路	34
5.	その他かんがい施設	34
第2節	排水施設	35
1.	排水水門	35
2.	排水機	35
3.	排水路	35
4.	その他排水施設	35
第3節	道路及び索道	36
1.	道路	36
2.	索道	36
第4節	農用地造成	37
第5節	洪水調節施設	37
第6節	干拓施設	37
第7節	農用地整備施設	37
1.	区画整理	37
2.	暗渠排水	37
3.	客土	37
4.	除礫	37
5.	農地保全	37
第6章	付帯工事計画	38
第7章	工事の着手及び完了の予定時期	38
第8章	環境との調和についての配慮	38
第1節	環境との調和への配慮の方針	38
第2節	環境との調和への配慮に伴う配慮内容	38
第9章	換地計画の概要	39
第1節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	39
第2節	換地区の設定	39
1.	換地区の名称、所在、地積	39
2.	換地区を設定しない理由	39

1.	区画整理	31
2.	暗渠排水	32
3.	客土	32
4.	農地保全	32
第3節	換地計画樹立の基本方針	39
1.	従前の土地の地積の基準	39
2.	用途別予定地積	40
3.	農用地集団化の方針	41
4.	非農用地換地の方法	41
5.	創設土地改良施設用地換地の方法	41
第4節	土地の評価及び清算の方法	42
1.	評価の方法	42
2.	清算の方法	42
第5節	換地計画樹立の年度計画	42
第6節	換地処分の特例に関する特例	43
第10章	事業費の総額及び内訳	43
第11章	効用	44
第12章	関連する事業	45
第13章	現況・計画図面	45
1.	現況平面図	
2.	計画平面図及び土地利用計画図	
3.	主要構造図	

第1章 目 的

本地区は用・排水路が未整備であり、農業水利施設の安定的な機能が確保されていない状況にある。また、多くの農道が狭小・湾曲であり現況畑の区画も不整形かつ小区画となっており、農業従事者の減少や高齢化も問題となっている。こういった地区状況において、農地の集積・集約化、高機能化、パイプライン化による水管理の省力化等の畑地帯における総合的な整備及びこれに関連する事業を推進し、農業への担い手の確保・育成、生産効率・安全性の向上及び競争力のある「攻めの農業」の実現を目的とする。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域

(第1表)

事業名	地 域
農業用用水	群馬県 渋川市 赤城町・利根郡 昭和村 地内
区画整理	〃

第2節 地 積

(令和8年3月現在) (第2表)

事業名	現況地目 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
農業用用水	昭和村	－	38.7	－	－	－	38.7	登記簿地籍（一部図測）
区画整理	〃		38.7		－	4.4	43.1	〃
農業用用水	渋川市	－	13.5	－	－	－	13.5	登記簿地籍（一部図測）
区画整理	〃		13.5		0.5	1.3	15.3	〃
計			52.2		0.5	5.7	58.4	

第3章 現 況

本地区は渋川市赤城町の北東部、利根郡昭和村の南部に位置し、赤城山西麓の標高495m～589m前後に広がる平均傾斜1／12の畑作地域で、地区の南側には敷島1－3地区が整備されており、周りは山林に囲まれた一体的な農地である。なお、地区の東側を南北に赤城西麓広域農道が縦断しており、関越自動車道赤城ICへも十数分で乗り入れ可能な交通の便にも恵まれた首都圏への生鮮野菜の供給地となっている。また、営農はコンニャクを主体に露地野菜を併せた複合経営が中心である。

第1節 気象

1. 一般気象 (第3表-1)

観測所名	前橋地方気象台	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	S. 60年～R. 6年	6月～9月	10月～5月		
平均気温 (℃)		24.1 ℃	10.1 ℃	14.8 ℃	
降水量	平 均 (mm)	758.6 mm	552.2 mm	1310.8 mm	
	基準年 (mm)	430	450	880	(基準年昭和35年)
降水日数	平 均 (日)	51 日	56 日	107 日	
	基準年 (日)	51 日	56 日	107 日	(基準年昭和35年)
根 雪 期 間		一月 一日～ 一月 一日 (一日間)			
無 霜 期 間		4 月 1 日 ～ 11 月 15 日 (229 日 間)			昭和56年～平成22年 観測平年値
最 多 風 向		NNW	最大風速 (風向)	29.9m/ s (N)	
					最大風速発生年月日 M33. 9. 28

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位		備 考
前 橋	数 量 (年月日)	発生 確率	数 量 (年月日)	発生 確率	数 量 (年月日)	発生 確率	数 量 (年月日)	発生 確率	数 量 (年月日)	発生 確率	
観測期間											
S. 60年～R. 6年											
最大日雨量(mm)	357. 4 S22. 9. 15	1/300	262. 4 S30. 8. 6	1/220	233. 5 R1. 10. 12	1/100	201. 0 H11. 8. 14	1/40	180. 0 S33. 9. 26	1/25	
最大時間雨量(mm)	114. 5 H9. 9. 11	1/65	94. 0 S30. 8. 6	1/25	82. 0 S52. 7. 26	1/15	81. 4 S37. 8. 28	1/14	81. 4 S36. 8. 18	1/14	
最大連続雨量(mm)	392. 5 S22. 9. 13 ～S22. 9. 15		338. 9 M43. 8. 6 ～M43. 8. 11		311. 5 S57. 9. 10 ～S57. 9. 12		262. 4 S30. 8. 6 ～S30. 8. 7		200. 4 S25. 7. 27 ～S25. 7. 30		
最大連続干天日数 (日)	63 S56. 12. 3 ～S57. 2. 3		39 S58. 11. 25 ～S59. 1. 2		29 S56. 1. 3 ～S56. 1. 31		27 S60. 12. 8 ～S61. 1. 3		26 S55. 10. 26 ～S55. 11. 20		

第2節 土地状況

1. 地形, 土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地 目	田						畑 ・ そ の 他						受益地標高(m)		備 考
	傾斜区分	1/1000 以下	1/1000 ～ 1/100	1/100 ～1/20	1/20～ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 以下	3° ～8°	8° ～ 15°	15° ～ 20°	20° 以上	計	最高	最低	
農業 用排水	面積(ha)	-	-	-	-	-	-	-	21.4	30.8	-	-	52.2	589	495	平均傾斜1/12
	比率(%)	-	-	-	-	-	-	-	41	59	-	-	100			
区画 整理	面積(ha)	-	-	-	-	-	-	-	21.4	30.8	-	-	52.2	589	495	平均傾斜1/12
	比率(%)	-	-	-	-	-	-	-	41	59	-	-	100			
合 計	面積(ha)	-	-	-	-	-	-	-	21.4	30.8	-	-	52.2	589	495	
	比率(%)	-	-	-	-	-	-	-	41	59	-	-	100			

(第4表-1-2)

項目 土壌 統(区)名	土 壌 統 (区) 区 分 一 覧 表									面 積 (ha)			備 考	
	土 壌 断 面							堆積 様式	母 材	農業用 用排水	区画 整理	計		
	色	腐 植	礫 層	酸化沈 殿物	土 性									泥炭層 黒泥層 グライ層
					表 土	下 層 土								
					一 層	二 層	三 層							
折原統	黒色	富む	なし	なし	砂壤土 (SL)	埴壤土 (SL)	なし	—	風積 (火山性)	非固結 火成岩	52.2	52.2	52.2	
計											52.2	52.2	52.2	

2. 土地分類

該当なし

3. 土地利用の状況

(令和8年3月現在)

(第4表-3)

事業名	土地 利用別 市町村別	農 地						山 林		採 草 放牧地 (ha)	原 野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水 田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	桑 畑 (ha)	その他 樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
農業用排水	昭和村	—	36.5	—	—	—	—	—	—	—	—	6.6	43.1	
区画整理	〃	—	36.5	—	—	—	—	—	—	—	—	6.6	43.1	
農業用排水	渋川市	—	12.0	—	—	—	—	0.5	—	—	—	2.8	15.3	
区画整理	〃	—	12.0	—	—	—	—	0.5	—	—	—	2.8	15.3	
合計		—	48.5	—	—	—	—	0.5	—	—	—	9.4	58.4	

4. 土地所有の状況

(令和8年3月現在)

(第4表-4)

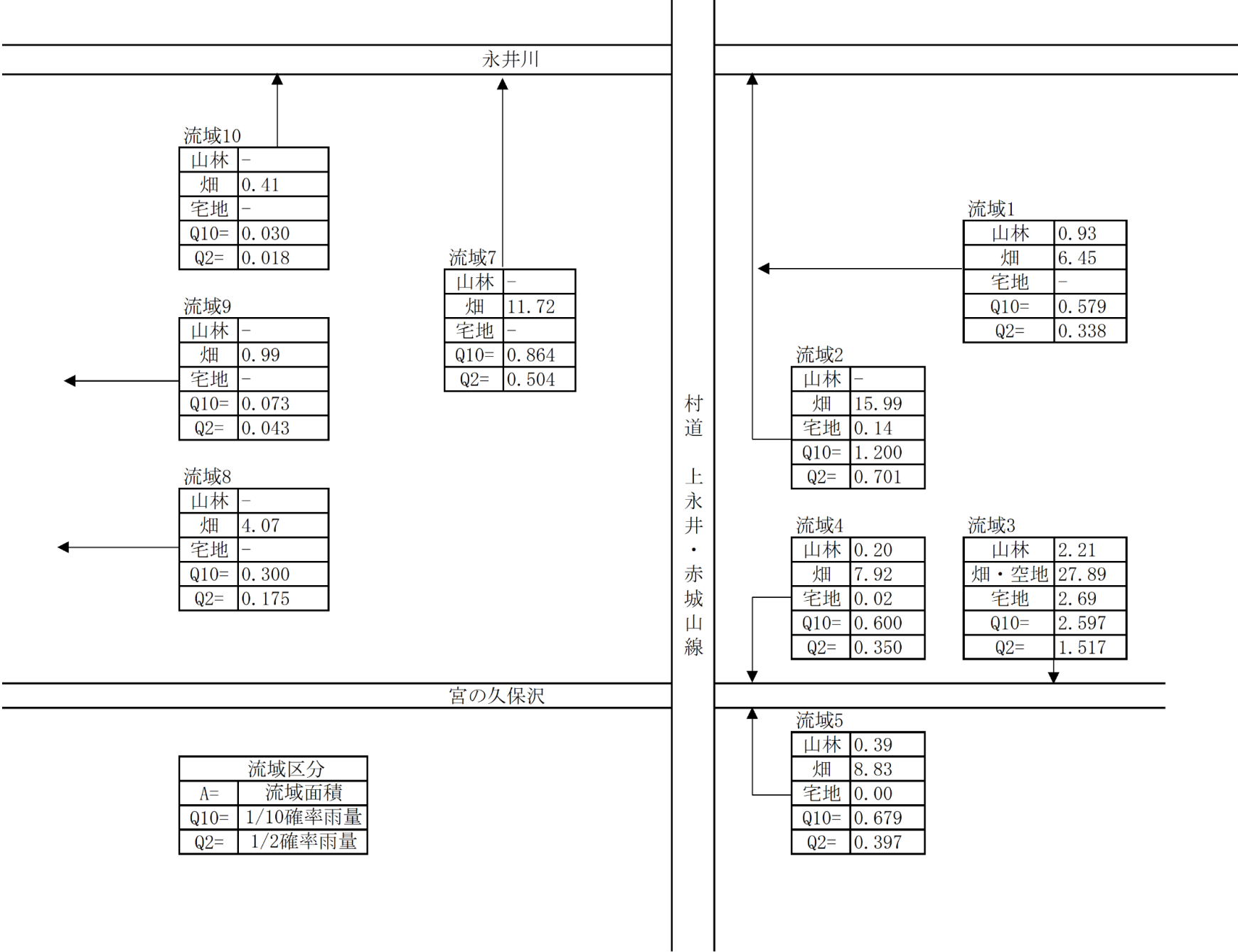
事業名	所有者 区分	個人有	市町村有	県有	国有		計	備考
農業用排水	面積(ha)	52.2	—	—	—		52.2	
	関係戸数(戸)	99	—	—	—		99	
	筆数(筆)	288	—	—	—		288	
	権利関係	所有権					—	
	備考							
区画整理	面積(ha)	52.2	—	—	—		52.2	
	関係戸数(戸)	99	—	—	—		99	
	筆数(筆)	288	67	—	—		355	
	権利関係	所有権					—	
	備考							
合 計	面積(ha)	52.2	—	—	—		52.2	
	関係戸数(戸)	99	—	—	—		99	
	筆数(筆)	288	—	—	—		355	
	権利関係	所有権					—	
	備考							

第3節 水利状況

1. 用水状況

該当なし

2. 排水状況
(1) 排水系統



(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

項目 施設名		排水面積								排水慣行 (m3/s)	現況排水能力 (m3/s)	備 考
		500ha以上		500ha ～ 100ha		100ha以下		計				
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha			
自然	排水路					2	88.03	2	88.03	—	—	
	水 門											
機械	排水機											
	水門及び排水機											
	排水路及び排水機											
合 計						2	88.03	2	88.03	—	—	

(イ) 改修を要する施設の一覧表 (該当なし)

(3) 排水に関する被害状況 該当なし

3. 河川状況

(1) 河川の現況 該当なし

第4節 道路現況

1. 道路概況

別紙現況道路模式図のとおり

2. 主要道路一覧表

(第6表)

No	路 線 名	管理区分別	延長(m)	幅員(m)		構 造	改修の要否	備 考
				全幅	有効			
R-1	長井坂赤城山線	昭和村	814.0	3.3	2.8	G	要	
R-2	長井坂原線	〃	384.0	4.2	3.7	Co	〃	
R-3	原6号線	〃	589.9	3.1	2.6	G	〃	
R-4	原7号線	〃	149.0	2.5	2.0	G	〃	
R-5	原5号線	〃	76.0	4.3	3.8	G	〃	
R-6	原4号線	〃	152.8	3.8	3.3	G	〃	
R-7	上永井赤城山線	〃	625.1	5.2	4.0	As, Co, G	〃	
R-8	原赤城山1号線	〃	356.7	2.8	2.3	As, G	〃	
R-9	赤城山3号線	〃	143.7	3.3	2.8	G	〃	
R-10	赤城山2号線	〃	139.8	3.7	3.2	G	〃	
R-11	赤城山4号線	〃	295.3	3.9	3.4	Co, G	〃	
R-12	原1号線	〃	74.7	4.3	3.8	Co, G	〃	
R-13	原2号線	〃	142.5	5.3	4.8	G	〃	
R-14	原赤城山2号線	〃	585.6	4.8	4.3	Co, G	〃	
R-15	原3号線	〃	140.9	3.0	2.5	As, G	〃	
R-16	原赤城山3号線	〃	158.9	4.2	3.7	Co	〃	
R-17	原赤城山4号線	〃	962.9	3.7	3.2	Co, G	〃	
R-18	赤城山1号線	〃	496.5	4.6	4.1	Co, G	〃	
R-19	①	〃	169.9	2.2	1.7	G	〃	
R-20	②	〃	113.4	1.5	1.0	Co, G	〃	
R-21	③	〃	103.3	1.9	1.4	G	〃	
R-22	④	〃	91.7	2.0	1.5	G	〃	
R-23	⑤	〃	77.6	1.3	0.8	G	〃	

No	路 線 名	管理区分別	延長(m)	幅員(m)		構 造	改修の要否	備 考
				全幅	有効			
R-24	⑥	昭和村	72.0	1.9	1.4	G	要	
R-25	⑦	〃	48.1	1.9	1.4	G	〃	
R-26	⑧	〃	33.0	1.5	1.0	G	〃	
R-27	⑨	〃	105.4	1.5	1.0	G	〃	
R-28	⑩	〃	112.4	1.5	1.0	G	〃	
R-29	⑪	〃	192.4	1.5	1.0	G	〃	
R-30	支道 5-8004	渋川市	383.3	1.5	1.0	G	〃	
R-31	〃 5-8005	〃	88.5	1.5	1.0	G	〃	
R-32	〃 5-8006	〃	149.5	1.5	1.0	G	〃	
R-33	〃 5-8007	〃	328.9	1.5	1.0	G	〃	
R-34	〃 5-8008	〃	193.4	2.3	1.8	G	〃	
R-35	〃 5-8009	〃	121.2	2.2	1.7	G	〃	
R-36	〃 5-8001	〃	260.4	1.5	1.0	G	〃	
R-37	〃 5-8002	〃	252.1	1.9	1.4	Co, G	〃	
R-38	⑫	〃	185.8	1.8	1.3	G	〃	
R-39	⑬	〃	194.9	1.7	1.2	G	〃	
R-40	⑭	〃	94.2	1.7	1.2	G	〃	
R-41	⑮	〃	269.8	1.7	1.2	G	〃	

(3) 現況道路概略図



第5節 地域農業の概況

本地区の農業は、地域の大半が山地で、高台に分散する小規模の農地は、コンニャクを主体として果樹、花木、野菜、畜産などの複合経営が行われているが、近年の輸入自由化による基幹作物のコンニャク・畜産など価格低迷であり、農業就業者も高齢化し、後継者不足などから耕作放棄地の増加が続いている。

今後の開発としては、安全・安心な農作物を安定的に供給できる生産性の高い地域農業を推進するため、畑地かんがい事業を併せた区画整理事業を実施して高付加価値のあるハウレンソウ、ネギ、レタス、キャベツ等の力強い産地育成を図ると共に意欲的に農業に担い手の支援を行う。また、農地利用集積に努めると共に基盤整備の実施により生産性の高い農業の振興を図りながら自然条件を生かした特産品づくりにより販路の確保を図り、併せて美しい自然の保全を創造し後継者の定住を図りたい。

(令和8年3月現在)

1. 産業別就業人口

(資料：R2年国勢調査資料)

(第7表-1)

項目 市町村名	総 数 (人)	農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	鉱業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気 ガス 熱供給 水道業 (人)	運輸通 信業 (人)	卸売 小売業 飲食店 (人)	金融 保険業 (人)	不動産 業 (人)	サービ ス業 (人)	公務 (人)	その他 (人)	備 考
渋川市	38,577	2,153	78	8	21	4,030	6,756	282	1,761	5,476	700	485	7,816	1,256	7,755	(令和8年3月現在)
昭和村	4,176	1,880	9	0	2	276	417	12	118	343	47	13	427	121	569	〃
計	42,753	4,033	87	8	23	4,306	7,173	294	1,879	5,819	747	498	8,243	1,377	8,324	
比率(%)	100.0	9.4	0.2	0.0	0.1	10.1	16.7	0.7	4.4	13.6	1.7	1.2	19.3	3.2	19.5	

2. 経営農地広狭別農家数及び農地の分散状況並びに専兼業別農家数

(令和8年3月現在)

(資料：2020センサス)

(第7表-2-1)

区分 市町村名	農 家 総戸数 (戸)	経 営 農 地 広 狭 別 農 家 数 (戸)										
		0.3 ha 未満	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 ～ 20.0	20.0 ha 以上	例外規定 の適用を 受けるもの
渋川市	1,117	37	227	377	150	78	76	55	53	20	5	39
昭和村	483	12	20	51	38	39	69	72	96	68	15	3
計	1,600	49	247	428	188	117	145	127	149	88	20	42
比率(%)	100.0	3.1	15.4	26.8	11.8	7.3	9.1	7.9	9.3	5.5	1.3	2.6

(資料：2020センサス)

(第7表-2-2)

区分 市町村名	1 戸 当 た り 平 均 農 用 地 面 積 (ha)						農 用 地 の 分 散 状 況		専 兼 業 別 農 家 数 (戸)			備 考
	田	畑	樹園地	小 計	草 地	計	1戸当たり 団 地 数	団地当たり 面 積 (ha)	専 業	兼 業		
										第 一 種	第 二 種	
渋川市	0.30	1.39	0.06	1.75	-	1.75			273	113	683	
昭和村	0.08	5.51	0.05	5.64	-	5.64			333	11	107	
計(平均)	0.19	3.45	0.06	3.70	-	3.70			606	124	790	
比率(%)	5.1%	93.4%	1.5%	100%								

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(令和8年3月現在)

(資料：2015センサス)

(第7表-3)

項目 市町村名	動 力 農 機 具								主 要 家 畜						備 考
	動力耕運機 乗用トラクター		田 植 機		動力防除機		自脱型コンバイン		乳 用 牛		肉 用 牛		豚		
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (頭)	戸 数 (戸)	数 量 (頭)	戸 数 (戸)	数 量 (頭)	戸 数 (戸)	
渋川市	1,400	1,036	470	450	-	-	291	267	1,216	32	3,327	49	82,378	28	農家戸数 1873 戸
昭和村	1,293	462	82	71	-	-	18	18	3,959	10	-	11	-	1	
計	2,693	1,498	552	521			309	285	5,175	42	3,327	60	82,378	29	
100戸当たり 数量(台,頭)	144		29				16		276		178		4,398		
利用戸数 割合(%)	80.0%		27.8%				15.2%		2.2%		3.2%		1.6%		

資料：2020農林業センサスに記載がないため2015農林業センサスを参照

4. 主要作物作付状況

(令和8年3月現在)

(資料：農林水産統計年報)

(第7表-4)

市 町 村 名			渋川市		昭和村				計	平均	作付率 (%)	備 考
総農用地面積 (ha)			3, 590		2, 340				5, 930			
総本地面積 (ha)			2, 947		2, 327				5, 274			
区分 作物名			作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)		
田	表作	水稻・他	385	499	29	515			414	1, 014	7. 0	(水稻)
	裏作	麦類・他	80	359	－	－			80	359	1. 3	(小麦)
	小計		465		29				494		8. 3	
畑	春夏 作	葉菜類	－	－	123	6, 180			123	6, 180	2. 1	(キャベツ)
	秋冬 作	葉菜類	139	1, 320	549	6, 700			688	8, 020	11. 6	(ほうれんそう)
	小計		139		549				688		11. 6	
樹 園 地	果 樹		－	－					－	－	－	
	桑・飼肥料作物等		－	－					－	－	－	
計			604						604		10. 0	
市町村別延べ作付率 (%)												

5. 農業の動向

渋川市

(令和8年3月現在)

(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主要作物			家 畜			動力農機具			備 考
	C	B	A	C	B	A	作物名 C	B	A	家畜名 C	B	A	農機具名 C	B	A	
変化の 状 況 C年を 100 とする 指 数	総農家数	81	63	耕地	91	83	工芸作物	95	88	乳用牛	70	67	トラクター	84	0	A：令和2年 (2020年農業センサ ス) B：平成27年 (2015年農業センサ ス) C：平成22年 (2010年農業センサ ス)
	専業農家 数	99	51	田	84	65	果樹類	85	71	肉用牛	62	0	田植機	76	0	
	一種兼 農家数	57	38	畑	93	91	野菜類	83	115	豚	93	110	コンバイン	82	0	
	二種兼 農家数	77	80	樹園地	87	57	芋類	140	100				動力 防除機	-	-	
	農業 従事者数	73	42													
変化の 理由	都市化による他産業 への労働力の流動			都市化による開発、 水田面積の減少			畑作物の振興と 営農改善			営農改善			労力の減少に伴う 機械化省力営農の 定着			
地域指定等				農振法 S. 46. 10. 8 酪農肉用牛生産近代化計画 H. 13. 9 農業生産総合振興計画 H. 9. 3. 7 果樹広域濃密生産団地（ワイルド） H8. 5												

A：2020年農業センサス

B：2015年農業センサス

C：2000年農業センサス

5. 農業の動向

昭和村

(令和8年3月現在)

(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主要作物			家 畜			動力農機具			備 考	
	C	B	A	C	B	A	作物名 C	B	A	家畜名 C	B	A	農機具名 C	B	A		
変化の 状 況 C年を 100 とする 指 数	総農家数	91	80	耕地	89	104	工芸作物	97	108	乳用牛	140	186	トラクター	107	0	A：令和2年 (2020年農業センサ ス) B：平成27年 (2015年農業センサ ス) C：平成22年 (2010年農業センサ ス)	
	専業農家 数	88	87	田	70	68	果樹類	91	209	肉用牛	-	80	田植機	80	0		
	一種兼 農家数	106	9	畑	89	105	野菜類	89	126	豚	-	-	コンバイン	78	0		
	二種兼 農家数	89	175	樹園地	132	88	芋類	17	17				動力 防除機	-	-		
	農業 従事者数	87	73														
変化の 理由	都市化による他産業 への労働力の流動			都市化による開発、 水田面積の減少			畑作物の振興と 営農改善			営農改善			労力の減少に伴う 機械化省力営農の 定着				
地域指定等				農振法 酪農肉用牛生産近代化計画 農業生産総合振興計画 果樹広域濃密生産団地（ワカリンゴ）												S. 46. 10. 8 H. 13. 9 H. 9. 3. 7 H8. 5	

A：2020年農業センサス

B：2015年農業センサス

C：2010年農業センサス

第6節 地域環境の概況

本地区は利根郡昭和村の南西部、渋川市赤城町の北東部に位置し、赤城山西麓の標高440m～540m前後に広がる平均傾斜1／13～1／10の畑作

地域で、地区の北側を一級河川永井川、南西側には整備済みの敷島1-3地区があり、周囲を急峻な山林により囲まれた台地となっている。

標高500m～800m付近まで緩い傾斜をなしている地帯には、ヤマハンノキ、ダケカンバ、シラカバ、ニズナラ等の潤葉樹林に覆われている。また、一部には、ツガ、コメツガ、モミアスナロ、イチイ等の針葉樹林もある。

動物ではノウサギ、ニホンカモシカ、イタチ、テン、キツネ、タヌキなどが生息している。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要旨

本地域の農業は、保水力に乏しい火山灰性土壌のうえ、国営赤城西麓農業水利事業で基幹施設が整備されているものの末端施設が未整備なため、天水に依存した農業経営は不安定であり、末端設備（パイプライン）を国営農業水利施設と一体的に整備することにより、農業用水の安定的な確保・供給を行い、事業効果の早期発現を高め競争力の強化を図る必要がある。また、不整形な区画と狭小な道路が大型農業機械の利用の障害となり、営農の効率化に支障をきたしており、本事業により生産基盤を整備し営農条件の改善を図ると共に、農業生産性の向上を図る必要がある。

2. 事業別面積

(第8表)

事業目的 事業名 土地利用 区分	農業用排水					区画整理					計	備 考
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	樹園地 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	樹園地 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)		
農業用排水		48.5		9.9	58.4		48.5		9.9	58.4	58.4	図測面積
区画整理		48.5		9.9	58.4		48.5		9.9	58.4	58.4	〃
計		48.5		9.9	58.4		48.5		9.9	58.4	58.4	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本地区は国営赤城西麓用水の受益地であるが未だに未整備地区で、不整形な農地が多く道路は狭小でコンクリート舗装も傷んでおり、大型農業機械の取り扱いが不便であるため、農地の効率的な利用及び経営規模の拡大に大きな支障となっている。また、地形勾配は急で排水路が未整備なため、作物の植え付け前後の集中豪雨では、耕作土が流亡し経営に多大な被害が発生する。これらの基盤条件を総合的に整備することで労働生産性を向上させ、畑作農業の振興と農業経営の安定化を図る必要がある。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

区分 項目		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	桑 園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
農業 用排水	現 況	—	52.2	—	—	—	—	52.2	—	—	—	52.2	
	計 画	—	48.5	—	—	—	—	48.5	—	—	—	48.5	
区画 整理	現 況	—	52.2	—	—	—	—	52.2	—	0.5	5.7	58.4	
	計 画	—	48.5	—	—	—	—	48.5	—	0.5	9.4	58.4	
計	現 況	—	52.2	—	—	—	—	52.2	—	0.5	5.7	58.4	
	計 画	—	48.5	—	—	—	—	48.5	—	0.5	9.4	58.4	

3. 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営類型	土地 利用 区 分	1 年 目												2 年 目												備 考			
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
農業用水区画整理	現況	普通畑	畑				コンニャク													コンニャク											
							トマト													トマト											
							スイートコーン													スイートコーン											
							レタス													レタス											
							ゴ`ホ`ウ													ゴ`ホ`ウ											
							ホウレンソウ													ホウレンソウ											
				ウト`																											
				トウキ													トウキ														
	計画	普通畑	畑				コンニャク													コンニャク											
							トマト													トマト											
							スイートコーン													スイートコーン											
							レタス													レタス											
							ナス													ナス											
						キャハ`ツ													キャハ`ツ												
						ホウレンソウ													ホウレンソウ												
			レタス														レタス														
			ホウレンソウ														ホウレンソウ														
			ハクサイ														ハクサイ														
			ホウレンソウ														ホウレンソウ														
ウト`																															
			トウキ														トウキ														
			ゴ`ホ`ウ														ゴ`ホ`ウ														

4. 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目 土地利用区分		作物名	作 付 面 積 (ha)		作 付 率 (%)		単位面積当たり 収量(kg/10a)		生 産 量 (t)			同左生産量増減の内 訳 (t)		備 考
				現況	計画	現況	計画	現況	計画	現況	計画	増減	面積増減	単位面積 当たり 収量増減	
農業用排水 区画整理	普通畑	表作	こんにゃく	27.3	14.8	53.0	31.5	1,628	1,628	444.4	240.9	△ 203.5	△ 203.5		
			トマト	2.2	3.0	4.3	6.4	7,363	8,467	162.0	254.0	67.7	67.7		
			スイートコーン	1.4	3.0	2.7	6.4	1,037	1,193	14.5	35.8	19.1	19.1		
			なす	-	3.3	-	7.0	7,344	8,446	-	278.7	278.7	278.7		
			キャベツ	-	5.6	-	11.9	6,599	7,457	-	417.6	417.6	417.6		
			レタス	2.1	6.3	4.1	13.4	5,433	6,139	114.1	386.8	257.8	257.8		
			ほうれんそう(春夏)	2.5	5.0	4.9	10.6	1,377	1,556	34.4	77.8	38.9	38.9		
			ウド	0.8	2.0	1.6	4.3	1,717	1,940	13.7	38.8	23.3	23.3		
			薬草(トウキ)	0.4	1.0	0.8	2.1	348	393	1.4	3.9	2.4	2.4		
			ごぼう	1.5	3.0	2.9	6.4	1,842	2,118	27.6	63.5	31.8	31.8		
			遊休農地	10.6	-	20.6	-	-	-	-	-	-	-		
			耕作放棄地	2.7	-	5.2	-	-	-	-	-	-	-		
						-	-			-	-	-	-		
			計	51.5	47.0	100.0	100.0			812.1	1,797.8	933.8	933.8		
	裏作	ほうれんそう(春夏)	-	12.4	-	26.4	1,377	1,556	-	192.9	192.9	192.9			
		ほうれんそう(秋冬)	1.1	10.6	2.1	22.6	1,377	1,556	15.1	164.9	147.8	147.8			
		はくさい	0.6	6.3	1.2	13.4	8,146	9,205	48.9	579.9	524.7	524.7			
		レタス	-	3.0	-	6.4	5,433	6,139	-	184.2	184.2	184.2			
									-	-	-	-			
									-	-	-	-			
		計	1.7	32.3	3.3	68.8			64.0	1,121.9	1,049.6	1,049.6			
合 計			53.2	79.3	103.3	168.8	-	-	876.1	2,919.7	1,983.4	1,983.4			

5. 労働改善計画

(第9表-4)

項目 土地利用区分	作物名	作付面積(ha)	単位面積当たり労働投下量(hr/ha)				備 考
			区 分	現 況	計 画	増 減	
畑	トマト なす	6.0	人 力	595.84	292.24	△ 303.6	15a区画 ↓ 30a区画 大型機械化体系
			機 械 力	226.08	37.54	△ 188.5	
	スイートコーン	3.0	人 力	549.85	121.11	△ 428.7	
			機 械 力	289.85	77.17	△ 212.7	
	キャベツ・レタス ハクサイ・ウド トウキ	24.5	人 力	865.84	479.40	△ 386.4	
			機 械 力	255.84	99.84	△ 156.0	
	ほうれんそう	28.0	人 力	649.85	313.23	△ 336.6	
			機 械 力	289.85	53.20	△ 236.7	
	ごぼう	3.0	人 力	757.11	164.20	△ 592.9	
			機 械 力	409.63	109.70	△ 299.9	
	計	64.5					

6. 級地別土地利用区分 [該当無し]

7. 土地配分計画 [該当無し]

第3節 用水計画

1. 計画基準年

昭和35年 上位事業の国営赤城西麓農業水利事業の計画基準年を採用した。

2. 計画かんがい方式

地表定置式散水かんがい、給水スタンド利用

3. 計画用水系統

別紙添付模式図の通り

4. 計画用水量

(1) かんがい用水

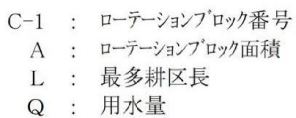
(第10表-1-1)

項目	種別	面積 (ha)			水田かんがい			畑地かんがい			消費 水量	損 失 率	粗用水量		備考
		事業名			普通期	代掻き期	面積	一日当 たり計 画平均 かん水 深	平均間 断日数	面積			平均	最大	
		農業 用水量	区画 整理	計	計画平均 単位用水 量 (mm/日)	計画代掻 き期単位 用水量 (mm/日)		(ha)	(mm/日)	(日)			(ha)	(m3/s)	
系統名															
国営 6号支線	農業用水	48.5	48.5	48.5				4.5	6	48.5	0.0165	25	0.015	0.022	

国営赤城西麓事業第2回変更計画書 P57

(2) 営農飲雑用水

〔該当無し〕



5. 水源計画 有効雨量 5mm/日以上の80%で上限はTRAMまで

損失率 国営幹線水路 5%、末端水路 5%、散水ロス 15% 計25%

(1) 水利用計画

(第10表-2-1)

項目 区分	消費 水量 (千m3) a	有効 雨量 (千m3) b	準用 水量 (千m3) c=a-b	粗用 水量 (千m3) d=c/(1-α)	現況利用可水量			不足水量		水源依存量		水源 工種	備考
					水源名	取水地 点利用 可能量 (千m3) e	ほ場 可能 利用量 (千m3) f	純不足 水量 (千m3) g=c-f	全不足 水量 (千m3) h=d-e	水源名	水量 (千m3)		
畑地かんがい	140.9	30.9	110.0	146.7	-	-	-	110.0	146.7	根利川 国営 6号支線	146.7	頭首工	損失率 α=25%

国営赤城西麓事業第2回変更資料 P 57

(第10表-2-2-2)

区分		畑地かんがい				備 考
		現況 (m3/s)		計画 (m3/s)		
		6月～9月	10月～5月	6月～9月	10月～5月	
純 用 水 量		-	-	0.0165	0.0110	() 内数
有 効 雨 量		-	-	0.0050	0.0030	
損 失 水 量		-	-	0.0050	0.0037	
全 用 水 量		-	-	0.0220	0.0150	
利用 可能 量	根利川 赤城川			0.0220 (0.0003)	0.0150	
	計			0.0220	0.0150	
不足量				0	0	

国営赤城西麓事業第2回変更資料

(2) 用水対策

(ア) 貯水池 [該当無し]

(イ) 井堰及び自然取入口 [該当無し]

(ウ) 揚水機 [該当無し]

(エ) 用水路 (第10表-6)

名称	項目	かんがい面 (ha)			最大通水量 (m3/s)	延長 (m)	構 造	備 考
		事業名						
		農業用 用水	区画 整理	計				
国営5号支線		(110)	－	(110)	(0.118)	(1127.4)	DCIP φ 350	国営施行済み
配水管		48.5	－	48.5	0.066	8,718	VU, VP, VH φ 100～φ 250	県営施行
計		48.5	－	48.5		8,718		

(オ) その他の水源施設 (第10表-7)

施設名	構造	数量	備考
減圧水槽	道路埋設型水槽	3基	
散水施設	スプリンクラー、散水チューブ 給水スタンド	7ローテーション	

(3) 水温水質

時期別	かんがい面積 (ha)	水温 (°C)		水質	被害量	備考
		最高	最低			
6月～9月	48.5	18.5	14.1	ph7.5		
10月～5月		10.7	8.8	ph7.5		

第4節 排水計画

1. 計画基準雨量

群馬県農政部確率雨量計算システムより(北緯 $36^{\circ} 35' 00'' \sim 36^{\circ} 35' 30''$ 、東経 $139^{\circ} 03' 45'' \sim 139^{\circ} 04' 30''$)
1/10年確率雨量を適用

(1) 1時間確率雨量 63.0 mm (短時間降雨強度式・・・ $5,582.0 / (T+28.6)$)

2. 計画排水方式

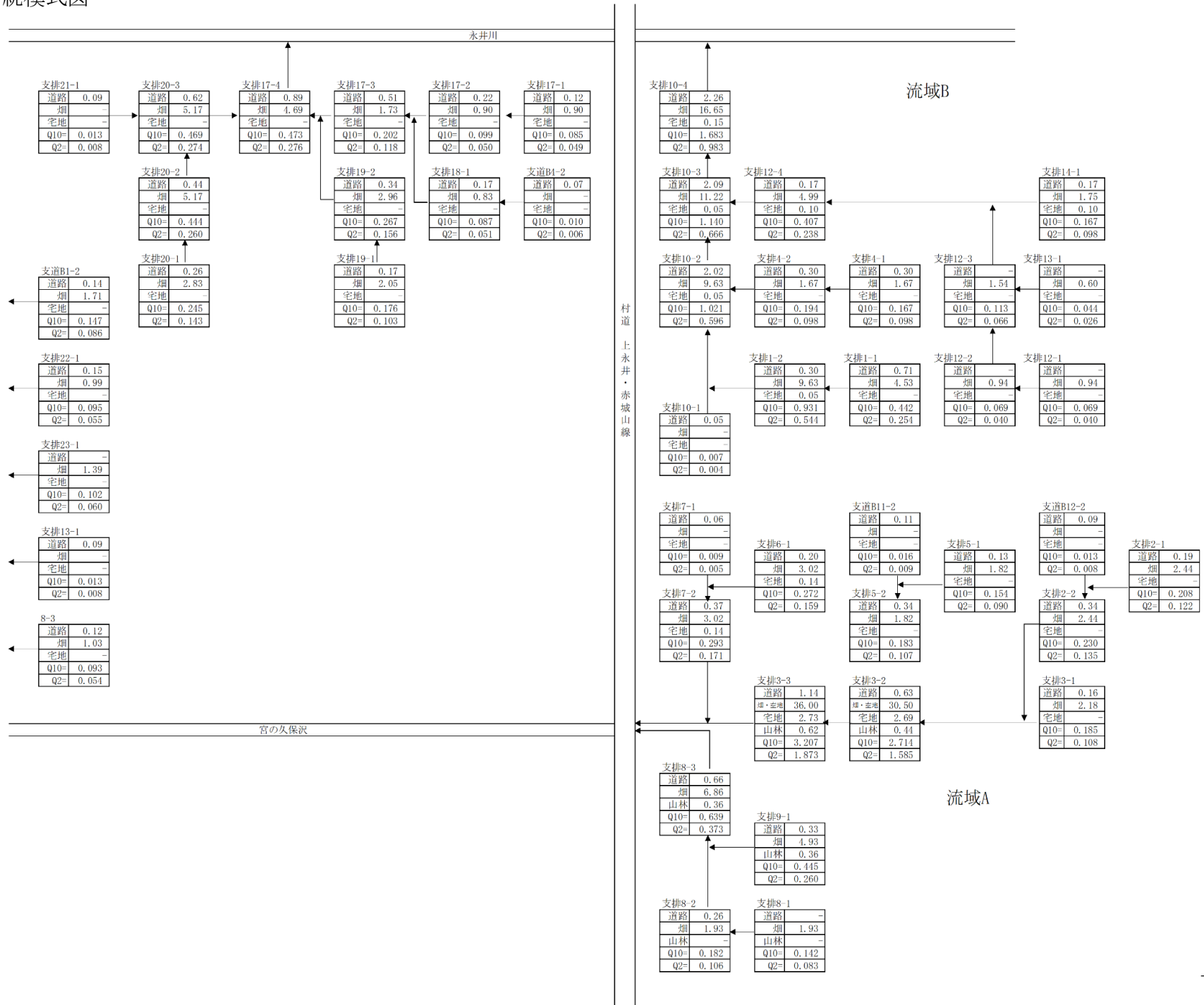
排水方式・・・・・・自然排水

新設する排水路及び水路兼道路を経て、現況排水流末に導水する。

3. 計画排水系統

別紙添付の計画排水系統模式図のとおり

計画排水系統模式図



4. 計画排水量

(第11表-1)

項目 排水系統名	受益面積 (ha)		流域面積 (ha)	基準雨量 (mm/h)	降雨による直接単位流出量 (m ³ /s/km ²)	基底出量 (m ³ /s/km ²)	全 排 出 量 (m ³ /s)		単位排水量 (m ³ /s/km ²)	備 考
	事 業 名						自然排水	機械排水		
	農業用 用排水	区画整理								
全体		48.5	95.45	63.0	8.161	－	7.790	－	8.161	
計		48.5	95.45	63.0	8.161	－	7.790	－	8.161	

5. 排水対策

(1) 排水水門 該当なし

(2) 排水機 該当なし

(3) 排水路

(第11表-4)

項 目 名 称	流域面積 (ha)	受益面積(ha)		計画排水量 (m ³ /s)	延 長 (m)	構 造	排 水 本 川			備 考
		事業名					名 称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
		農業用 用排水	区画整理							
支線排水路	88.0		48.5	7.790	3,262	U字溝 RDU303～404 UA300～700				
計	88.0		48.5	7.790	3,262					

6. たん水検討 該当なし

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道路

(第12表-1)

路線名 \ 項目	幅(有効) (m) × 延長 (m)	構 造	既設道路との関係	備 考
支 線 道 路	5.5(4.5) * 6,946	アスファルト舗装		
支 線 道 路	5.5(4.5) * 2,997	敷砂利		
計	9,943			

(2) 索道 該当なし

第6節 農用地造成計画

該当なし

第7節 洪水調節計画

該当なし

第8節 干拓計画

該当なし

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長 辺 × 短 辺 (m)	区 画 面 積 (ha)	全 体 面 積 (ha)	割 合 (%)	田 面 差 (m)	備 考
75×40	48.5	48.5	100%	—	
計	48.5	48.5	100%		

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面 積 (ha)	表土扱いの要否の理由	扱 い 深 (cm)	土 量 (m ³)	備 考
48.5	良質耕作土の確保	25	121,250	

(3) 末端道水路配置図

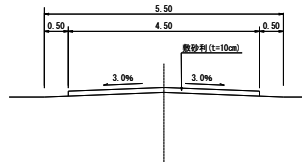
別紙添付配置図のとおり。

2. 暗渠排水
該当なし
3. 客土
該当なし
4. 農地保全
該当なし

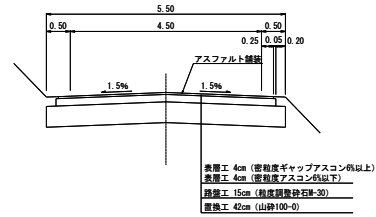
道路・排水路工標準断面図

道路工標準図

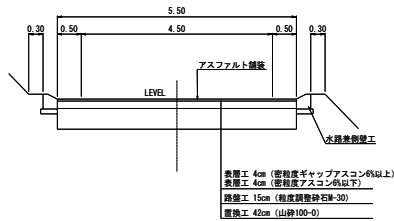
支線道路Ⅰ型



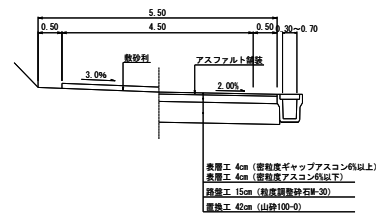
支線道路Ⅱ型



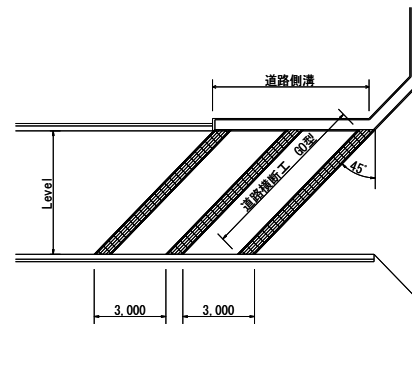
支線道路Ⅲ型



支線道路Ⅳ型

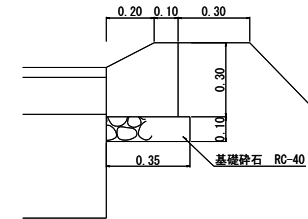


水路兼用道路流末処理工

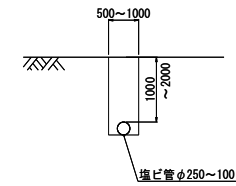


注) この配置図は標準的な配置を示したもので
 各設置場所に応じて配置を行うこと。
 道路横断工60型の「ゲレン」は道路幅
 全てについて行うこと。隅の斜の部分は
 車両等の交通に安全な施工を行うこと。

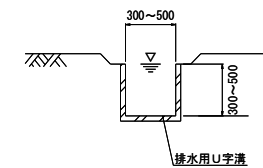
水路兼側壁工標準図



支線用水路工断面図



排水路工断面図



第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池 [該当無し]

2. 頭首工 [該当無し]

3. 揚水機場 [該当無し]

4. 用水路

(第17表-4)

水路名	項 目	受益面積(ha)			通水量 (m3/s)	延 長 (m)			構 造	勾 配 (%)	主要 構造物	備 考
		事 業 名				開渠	トンネル その他	計				
		農業用 用排水	区画 整理	計								
配水管		48.5		48.5	0.016～ 0.067		8,718	8,718	VU, VP, VH φ 100～250	5.63～ 22.10	減圧水槽 3ヶ所	県営 施工
計		48.5		48.5		0	8,718	8,718				

5. その他のかんがい施設

(第17表-5)

項目 施設名	構造	規模	数量	備考
減圧水槽	道路埋設型水槽	φ 150～φ 250mm	3基	
散水施設	スプリンクラー 散水チューブ 給水スタンド	2.45, 2.80kg/cm ² φ 50mm φ 50mm	7ローテーション	

第2節 排水施設

1. 排水水門

該当なし

2. 排水機

該当なし

3. 排水路

(第18表-3)

項 目 水路名	受益面積 (ha)			排水量 (m3/s)	延 長 (m)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考
	事 業 名										
	農業用 用排水	区画 整理	計		開渠	トンネル その他	計				
支線排水路 (25路線)		48.5	48.5	7.790	3,262		3,262	RDU303～404 UA300～700	1/15～ 1/80	合流水槽 J-60～J100	
計	0.0	48.5	48.5	7.790	3,262	0	3,262				

4. その他排水施設

該当なし

第3節 道路および索道

1. 道路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

項目 区分	路 線 名	幅 員 × 延長 (有効 m) (m)	構 造	附 帯 構 造 物			最急 こう配 (%)	同左の 延 長 (m)	最小曲 線半 径 (m)	備 考
				名称	構造	数量 (箇所)				
支線道路	支線道路 (40路線)	5.5(4.5)* 6,946	アスファルト舗装 表層4cm, 上層15cm, 置換工42cm				11.3	272	—	
	支線道路 (23路線)	5.5(4.5)* 2,997	砂利 敷砂利 t=10cm				6.6	77	—	
計	55 路線	9,943								

(2) 道路主要構造物

該当なし

2. 索道

該当なし

第4節 農用地造成 該当なし

第5節 洪水調節施設 該当なし

第6節 干拓施設 該当なし

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理 (第23表-1)

区 分	全体面積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標準区画 (ha)	土 量 (m3)	面 積 (ha)	土 量 (m3)	
畑	48.5	75m*40m	121,250	48.5	121,250	
計	48.5		121,250	48.5	121,250	

2. 暗渠排水 該当なし

3. 客土 該当なし

4. 除礫 該当なし

5. 農地保全 該当なし

第6章 付帯工事計画

該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着手 令和8年度
完了 令和15年度

第8章 環境との調和についての配慮

第1節 環境との調和への配慮の方針

本地区は、自然と調和を図るため、生態系に配慮した畑整地を行うとともに、多種多様な生物が生息可能な空間の維持・回復を目的とした環境整備を行う。

第2節 環境との調和への配慮に伴う配慮内容

本地区では、下記の通り生態系に配慮した整備を行う。

施 設 の 種 類	整 備 内 容 及 び 規 模	備考
1. 生態系ネットワーク	田園環境整備マスタープランに基づく自然環境保全地域に位置するため、絶滅危惧種である貴重な植物が地区内で確認された場合、工事に影響ない位置に移植する。	
2. 法面緑化	生物の往来を考慮し、地区内の法面には極力構造物を設けず緑化する。	

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

この事業は、農用地の集団化と農業生産基盤の整備向上を目的とし、土地の区画形質の変更を必要とするため、これらに伴う換地計画を樹立する。

第2節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、地積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	地積(ha)	備考
設定なし	渋川市 赤城町・利根郡 昭和村 地内	58.4	

2. 換地区を設定しない理由

当地区は、受益地域が1団地を形成しているため換地区の設定はしない。

第3節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準	備考
設定なし	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、この土地改良事業の計画の概要を公告した日の土地登記簿地積とする。ただし、公告の日から1ヶ月以内に測量士等が測量した実測図及び隣接する土地の所有者の同意書を添付して申し出た場合はその地積とする。点在非農用地については、群馬県の委託を受ける予定の渋川市及び昭和村が行う実測地積とする。	

2. 用途別予定地積

(単位：ha)

(第25表-3)

用途 前後 換地区名		農 用 地					道 路 水 路 等										非 農 用 地												合 計		
		一 般 農 用 地				創 設 農 用 地 計	機能交換に 係る土地				通常事業施行 地に含める土 地			創設土地改 良 施設用地			農 用 地 利 用 計 画 地	特定用途 地			一 般 国 有 地	異 種 目 換 地	創設非農用地								
		田	畑	草 地	小 計		国	県	市 町 村 他	小 計	土 地 改 良 施 設	が け ・ や ぶ 等	小 計	土 地 改 良 区	そ の 他	小 計		宅 地	そ の 他	小 計			農 業 経 営 合 理 化 施 設 〔1〕	生 活 経 営 上 必 要 な 施 設 〔2〕	公 用 公 共 用 施 設 用 地 〔3〕	宅 地 等	小 計				
設定なし	従前の 土 地	-	52.2		52.2		52.2	-	-	5.4	5.4	-	-	-				5.4	-	0.2	0.6	0.8	-							0.8	58.4
	換 地	-	48.5		48.5	-	48.5	-	-	9.1	9.1	-	-	-	-	-	-	9.1		0.2	0.6	0.8	-	-	-	-	-	-	-	0.8	58.4
	従前の 土 地																														
	換 地																														
	従前の 土 地																														
	換 地																														
合 計	従前の 土 地	-	52.2	0.0	52.2		52.2	-	-	5.4	5.4	-	-	-				5.4	-	0.2	0.6	0.8	-							0.8	58.4
	換 地	-	48.5	0.0	48.5	-	48.5	-	-	9.1	9.1	-	-	-	0.0	0.0	0.0	9.1		0.2	0.6	0.8	-	-	-	-	-	-	-	0.8	58.4

3. 農用地集団化の方針

(第25表-4)

換地区名	区分	地帯別、グループ別 団地の設定	個人別換地の方法		
			位置の選択方法	1戸当たり 目標団地数	区画畦畔の取り扱い
設定なし		集 落 別 集 団 化	各集落毎に、その耕地の集団化を図るものとし、各集落の団地の位置は従前に比べ各集落の耕作地の土地に著しい差が生じないように定める。 (土地の流動化に配慮する)	概ね2団地	移動区画 配分区画の設定に 当たり、短辺が 10m以上となるよう 定める。

4. 非農用地換地の方法

(第25表-5)

換地区名	用 途	非農用地区域の位置の概要	地 積 (ha)	換地の手法	換地取得予定者	最終取得予定者
設定なし	点在非農用地	概ね従前の位置	0.8	特定用途用地換地	従前の土地の所有者	従前の土地の所有者

5. 創設土地改良施設用地換地の方法 該当なし

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法

標準地比準方式による。

2. 清算の方法

増価額比例地積清算方式とする。

ただし、非農用地区域に換地する土地については、従前の土地の地積と換地の地積の差積についてのみ清算する。

第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

換地区名	区分	一時利用地の指定予定年度	換地計画決定の予定年度	換地処分予定年度	備考
設定なし		令和10年度	令和14年度	令和15年度	

第6節 換地処分の時期に関する特例

当地区は、区画変更工事が完了し、確定測量が行われたときは、法第89条の2第10項で準用する同法第54条第2項本文の規定にかかわらず工事完了公告前に換地処分を行うことができるものとする。

第10章 事業費の総額及び内訳

(単位：千円) (第26表)

事業名	農業用用水	区画整理	文化財調査費	計	備考
工事費	424,600	1,178,100	—	1,602,700	
主要工事	424,600	1,178,100	—	1,602,700	
付帯工事	—	—	—	0	
用地買収補償費	—	60,500	—	60,500	
測量設計費	—	77,000	—	77,000	
換地費	—	71,500	—	71,500	
文化財調査費	—	—	72,600	72,600	
事務費	21,230	69,355	3,630	94,215	
計	445,830	1,456,455	76,230	1,978,515	

参考

関連事業費

国営赤城西麓農業水利事業 551.1百万円

第11章 効用

(第27表-1)

区 分	年総効果（便益）額 （千円）	年増加見込所得額 （千円）	備 考
作 物 生 産 効 果	78,980	165,205	
営 農 経 費 節 減 効 果	34,849	38,062	
維 持 管 理 節 減 効 果	△ 585	△ 585	
耕 作 放 棄 防 止 効 果	130	-	
災 害 防 止 効 果（農業）	86	-	
地 籍 確 定 効 果	1,169	-	
国産農産物安定供給効果	23,927	-	
計	138,556	202,682	

(参考)

総費用（現在価値化）

2,018,661 千円

総便益額（現在価値化）

2,391,161 千円

総費用総便益比

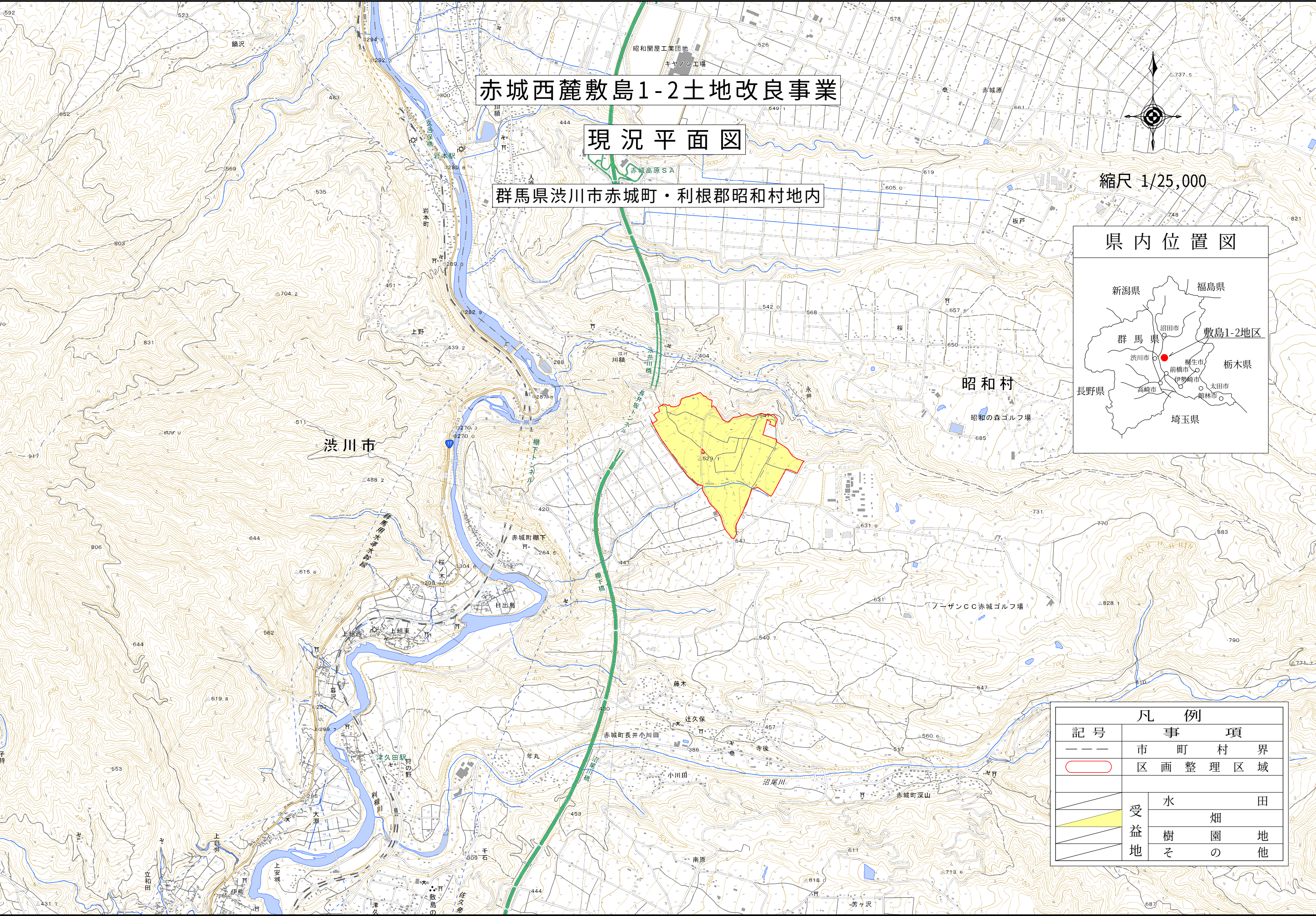
1.18

第12章 関連する事業

事業名	事業主体	受益面積 (ha)	総事業費		事業内容	備 考
国営赤城西麓 農業水利事業	国	2,400	28,031,707	千円	畑地かんがいに係る 基幹水利施設の整備	畑地かんがい 上位事業

第13章 現況・計画図面

- | | | |
|-------------------|-------|----|
| 1. 現況平面図 | | 別添 |
| 2. 計画平面図及び土地利用計画図 | | 別添 |
| 3. 主要構造図 | | 別添 |

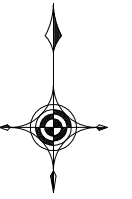


縮尺 1/25,000



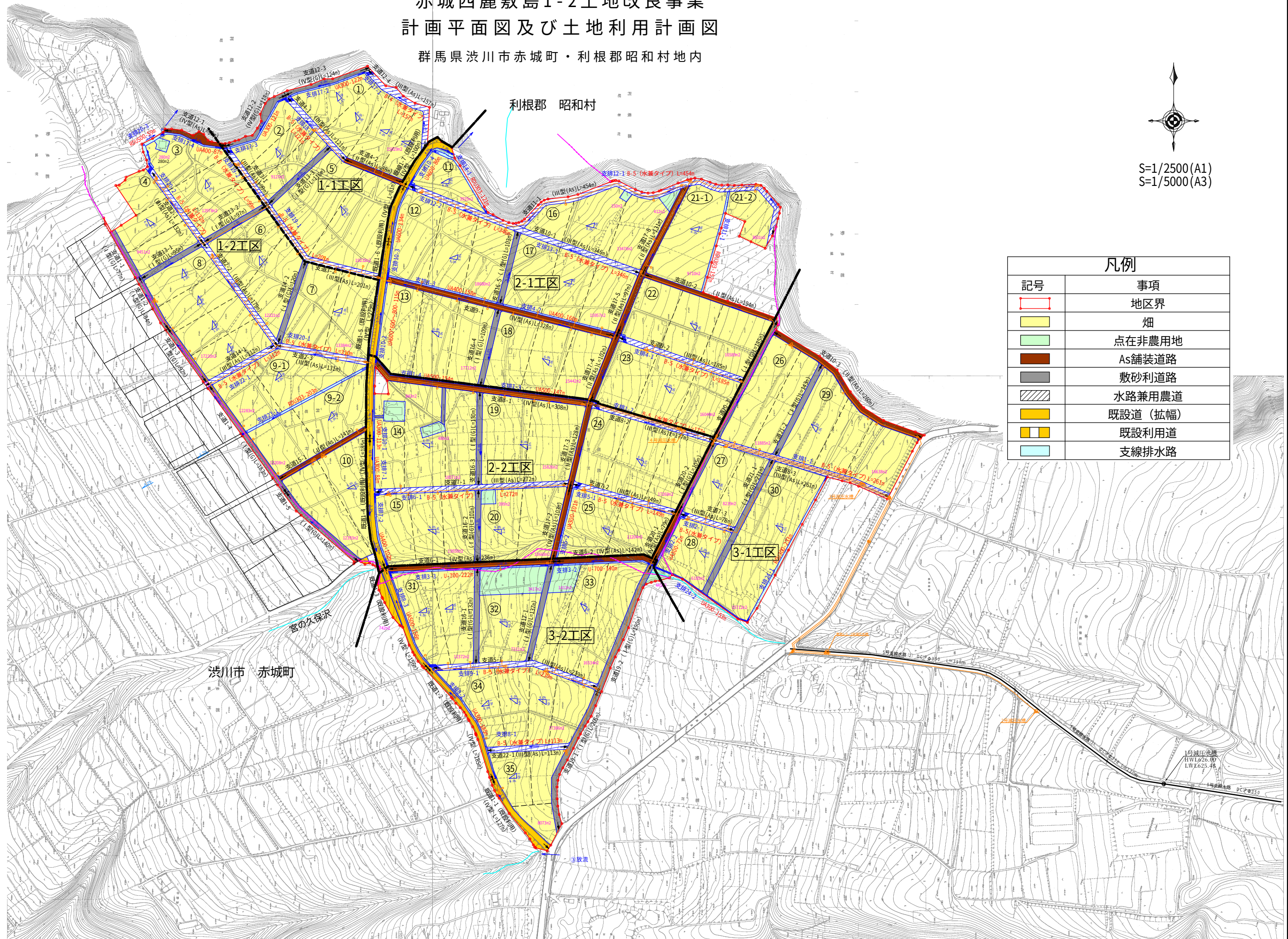
凡 例		
記 号	事 項	
---	市	町 村 界
○	区 画 整 理 区 域	
	受益地	水 田
		畑
		樹 園 地
		そ の 他

赤城西麓敷島1-2土地改良事業
計画平面図及び土地利用計画図
群馬県渋川市赤城町・利根郡昭和村地内



S=1/2500(A1)
S=1/5000(A3)

凡例	
記号	事項
	地区界
	畑
	点在非農用地
	As舗装道路
	敷砂利道路
	水路兼用農道
	既設道（拡幅）
	既設利用道
	支線排水路



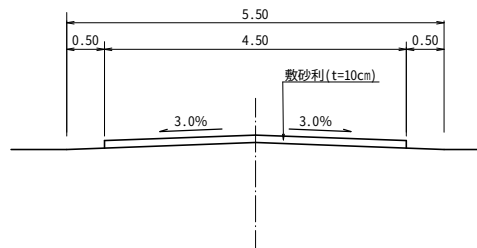
赤城西麓敷島1-2土地改良事業

主要構造図

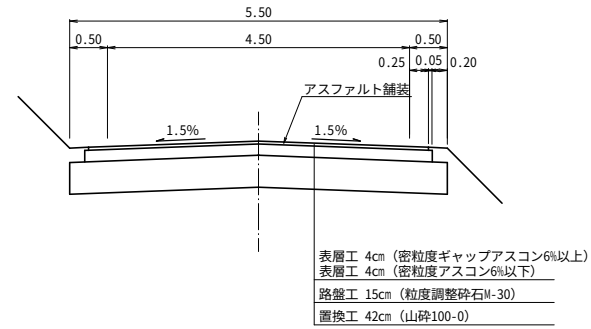
群馬県渋川市赤城町・利根郡昭和村地内

道路工標準図

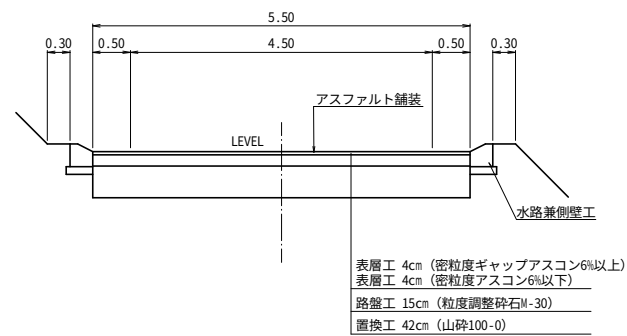
支線道路Ⅰ型



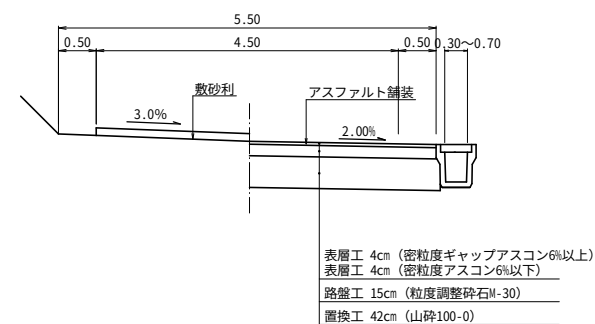
支線道路Ⅱ型



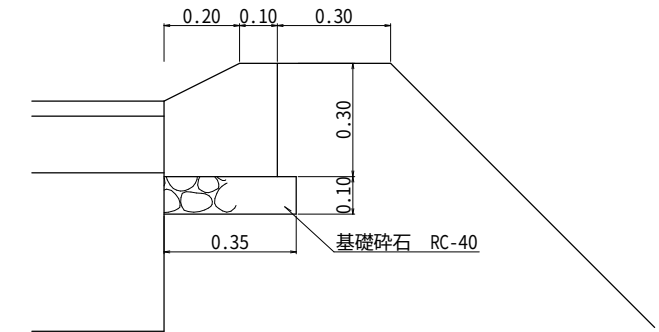
支線道路Ⅲ型



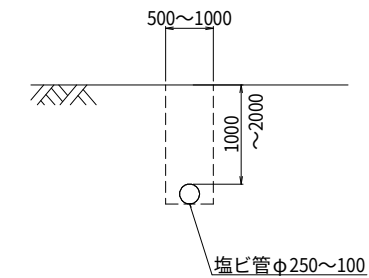
支線道路Ⅳ型



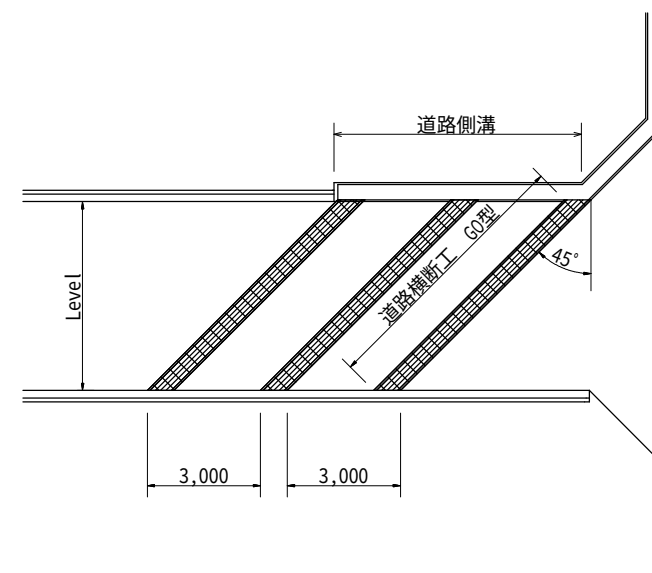
水路兼側壁工標準図



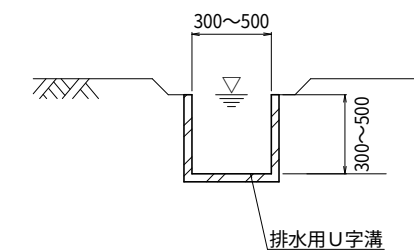
支線用水路工断面図



水路兼用道路流末処理工



排水路工断面図



注) この配置図は標準的な配置を示したもので各設置場所に応じて配置を行うこと。道路横断工G0型の「グレーティング」は道路幅全てについて行うこと。隅の斜の部分は車両等の交通に安全な施工を行うこと。